

環境土壌学研究室

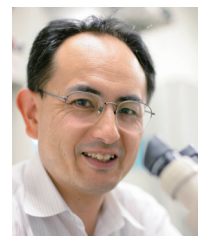
STAFF

教授 磯井 俊行

養分動態学、物質循環論
養分動態学特論(大学院)

教授 村野 宏達

環境化学基礎、土壌学、環境土壌学
土壌学特論(大学院)



教授 磯井俊行



教授 村野宏達

研究テーマ

土壌・植物・共生菌が関わる物質循環を調べ環境負荷低減を目指します

研究内容

土壌は農業や生態系を支える基盤です。増加し続ける世界人口を支えるため、農地への化学肥料、農薬といった化学資材の施用は必須のものと考えるでしょう。一方で、これらの資材の多用は、土壌だけでなく、さまざまな環境への負荷を高め、気候変動や健康リスク増大の懸念につながっています。

本研究室では、土壌の持つ機能を生物・化学・物理的側面から探求し、その潜在能力を引き出すことにより、農業による環境負荷の低減を目指しています。



研究室HPへGo!



最近の主な論文・著書／著者論文名等

- ・ 磯井俊行 (2026) 緑肥作物を用いた水稻の有機栽培、*農業および園芸*, 101 (4) : 290-293.
- ・ Li, X. Y. Wang, B. Xing, M. Teixido, M.A. Cruz, Maria, R. Wei, J. Ni, H. Murano, Z. Wang (2026) Critical review of the influence of charge-assisted hydrogen bonding on fate, transport, and treatment of representative contaminants of emerging concern and natural organic matter. *Journal of Hazardous Materials*, 513: 142057.
- ・ 磯井俊行 (2025) 持続的農業と作物共生微生物、*土と微生物*, 79 (1) : 20-22.
- ・ Wang, Z., M. Nagata, H. Murano, J.J. Pignatello (2024) Participation of strong charge-assisted hydrogen bonds in interactions of dissolved organic matter represented by Suwannee River Humic Acid. *Water Research*, 265: 122274.